

令和7年度 新規採択要望箇所の概要

1 事業概要

事業名	道路橋りょう改築費
事業箇所	主要地方道高岡環状線(高岡市佐野～石塚)
事業延長	延長1.7km(幅員9.5m)
事業内容	道路改良工(高架化 暫定2車線)
総事業費	約210億円
予定工期	令和7年度～令和21年度

2 事業の必要性

主要地方道高岡環状線は、高岡市街地の環状道路であり、地域の発展や交通渋滞の緩和に寄与する地域高規格道路に指定されており、富山県の緊急輸送道路としても指定されている重要な路線となっている。

副道による全線開通後、能越自動車道を含む西側からの交通量が新たに発生したこと、また北陸新幹線新高岡駅、大型商業施設へのアクセス道路として需要が増えたことにより、二塚交差点、佐野交差点、高岡インター入口交差点において渋滞が発生しており、主要渋滞箇所となっている。二塚交差点と高岡インター入口交差点では、現在事業中の高岡環状線3期事業と六家立体事業が進捗し渋滞緩和が進むことから、切れ目なく佐野交差点を含む当該区間の整備を進める必要がある。

また、当該区間は第2次緊急輸送道路に指定され、非常時のアクセス道路としての機能も期待されており、氷見市や能登方面へのアクセス機能向上のため、両事業と連携して当該区間を整備する必要がある。

3 事業の適切性(事業規模、区間など)

高架化による円滑なネットワークの形成により、高岡環状道路の機能が発現され、高岡市街地の渋滞緩和が進む

4 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 2.1 ※走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少による便益〈その他 費用便益として表せない効果〉
- ・緊急輸送道路(第二次)としての機能強化
 - ・氷見・能登方面との救急搬送路・避難路としての強化
 - ・交通の円滑化による産業、経済活動の促進

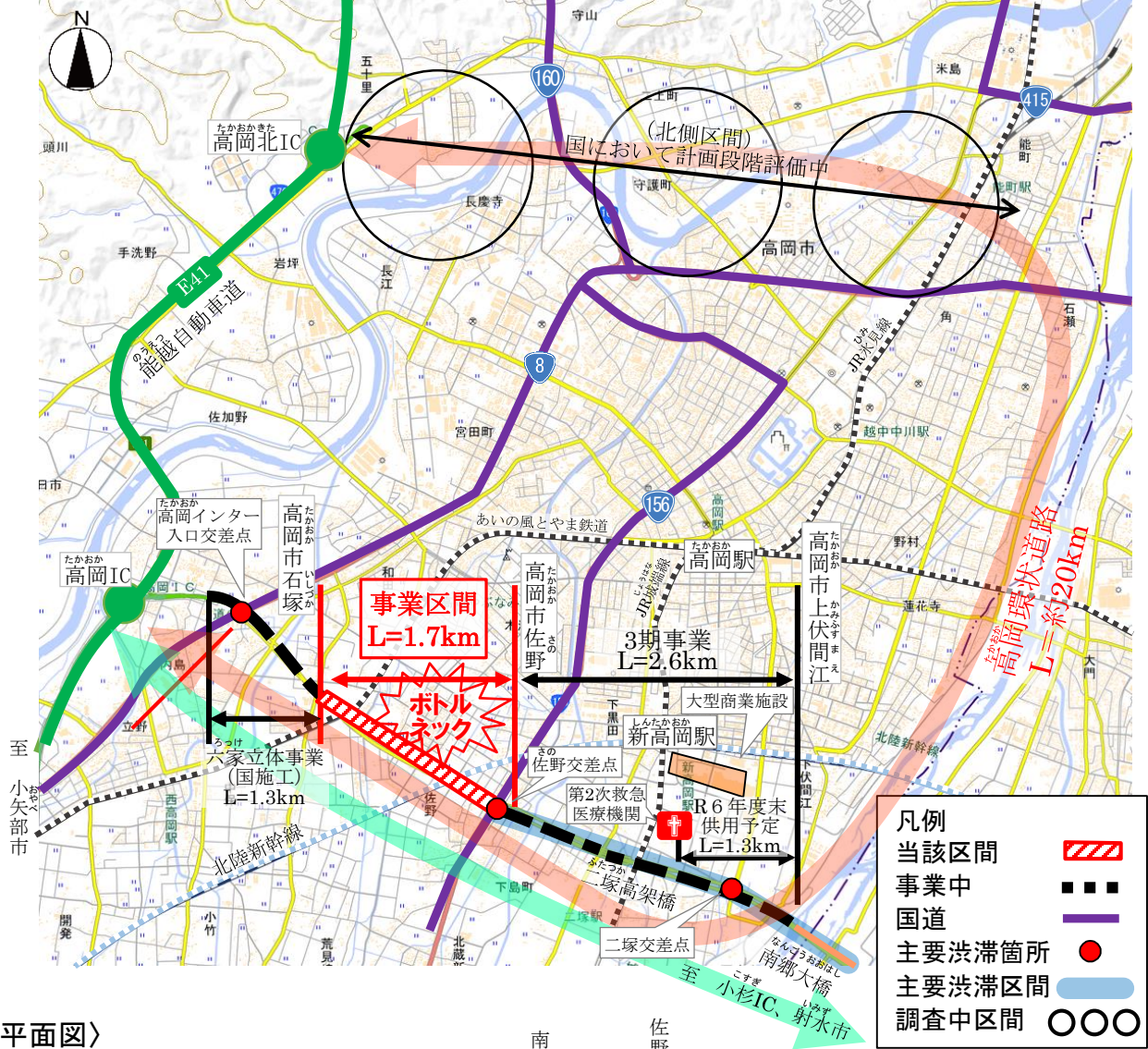
5 推進体制

- ・高岡環状線建設促進期成同盟会や高岡市から要望

〈写真〉① (佐野交差点) 高岡ICを望む ② 南郷大橋西詰 (西を望む)



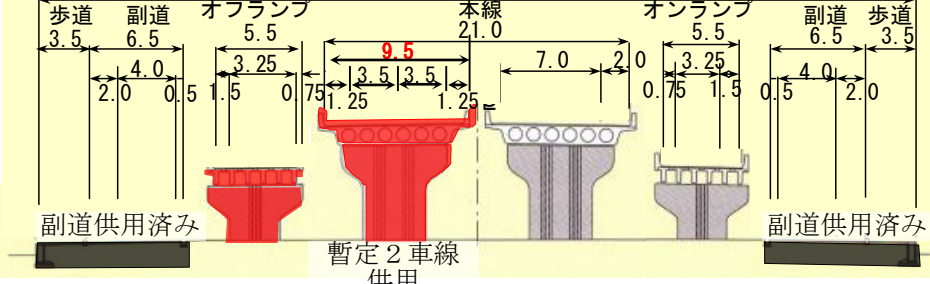
〈位置図〉



〈平面図〉



〈標準横断面図〉



今後の検討により変更となる場合があります

令和7年度 新規採択要望箇所の概要

1 事業概要

事業名	砂防関係施設整備
事業箇所	片貝川水系片貝川（魚津市三ヶ外地内）
事業内容	溪流保全工2,380m（床固工2基）、遊砂地工1基、堰堤工1基、堰堤改良1基
総事業費	約42.5億円
予定工期	令和7年度～令和17年度

2 事業の必要性

- ・魚津市の上流域から富山湾に注ぐ片貝川は、平均河床勾配が約1／12と日本屈指の急流河川であり、上流部の山腹は荒廃し、河床には不安定な土砂が堆積している。このため、豪雨による下流への土砂流出が発生し河床が上昇すると洪水被害が拡大し、魚津市・黒部市において、人家4,306戸、道路3,477m、公共施設等への被害の恐れがある。
- ・本事業では、下流への土砂流出を防止するため、片貝川本川（魚津市三ヶ外地内）において床固工2基を含む溪流保全工2,380mを整備し、また、支川の別又谷川（魚津市二ヶ地内）において遊砂地工、堰堤工、既設砂防堰堤改良各1基を整備し、魚津市・黒部市街地への浸水被害の軽減を図るものである。

3 事業の適切性（事業規模、区間など）

- ・土砂・洪水氾濫計算により効果の確認されている想定氾濫地点上流部に施設配置を検討。
- ・片貝川支川の別又谷川上流域に遊砂地工1基、堰堤工1基、既設砂防堰堤改良1基を整備し、上流からの土砂流出を抑止する。
- ・片貝川本川に床固工2基を整備し、河床侵食による土砂生産を防ぎ河床上昇の低減を図る。

4 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 2.2 ※一般資産被害、農作物被害、公共土木施設被害、営業停止被害等の軽減効果による便益
- 〈その他の効果〉
- ・人命等の人的被害の軽減、下流への流木流出による被害の低減 等

5 推進体制

- ・魚津市・黒部市からの要望あり。

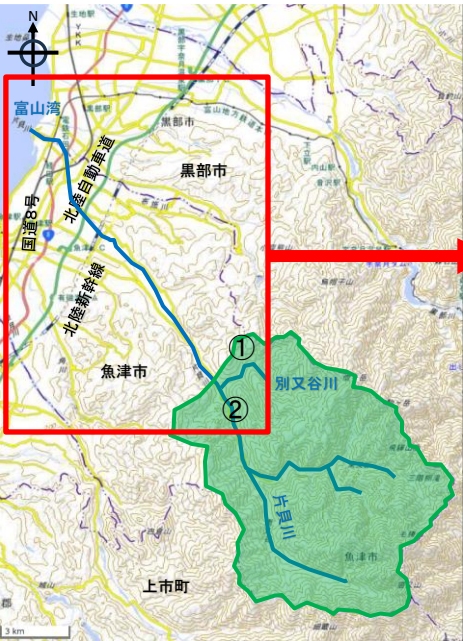


① 上流支川荒廃状況



② 上流域不安定土砂の堆積状況

〈位置図〉

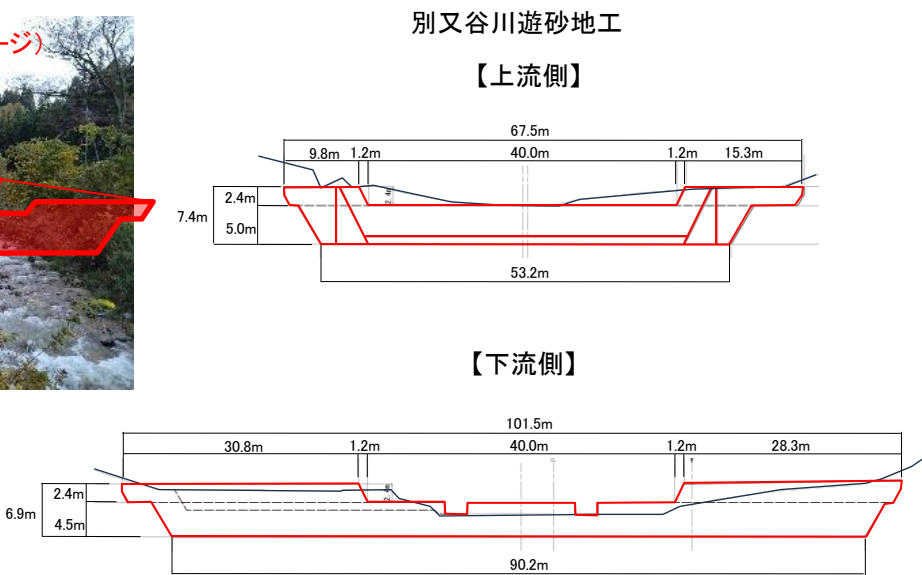


施設名	堤高	堤長
片貝川下流床固工	5.0m	114.0m
片貝川上流床固工	5.0m	88.5m
別又谷川遊砂地工	4.5m	101.5m
別又谷川堰堤改良工	14.0m	93.0m
一ノ又谷堰堤工	14.5m	82.8m

〈施工位置写真〉



〈標準横断面図〉



今後の検討により構造が変更となる場合があります

令和7年度 新規採択要望箇所の概要

1 事業概要

事業名	砂防関係施設整備
事業箇所	早月川水系早月川（滑川市 ^{はやつきがわ} 菟輪 ^{みのわ} 外地内）
事業内容	堰堤工1基、溪流保全工600m（床固工3基）
総事業費	約24.2億円
予定工期	令和7年度～令和17年度

2 事業の必要性

- ・中新川郡上市町から滑川市、魚津市を流れ富山湾に注ぐ早月川は、平均河床勾配が約1／12と日本屈指の急流河川であり、上流部の山腹は荒廃し、河床には不安定な土砂が堆積している。このため、豪雨による下流への土砂流出が発生し河床が上昇すると洪水被害が拡大し、滑川市・魚津市において、人家202戸、道路6,500m、公共施設等への被害の恐れがある。
- ・本事業では、下流への土砂流出を防止するため、早月川本川（滑川市菟輪^{こはやつきがわ}地内）において床固工3基を含む溪流保全工600mを整備し、また、支川の小早月川（魚津市虎谷^{とらに}地内）において砂防堰堤1基を整備し、滑川市・魚津市街地への浸水被害の軽減を図るものである。

3 事業の適切性（事業規模、区間など）

- ・土砂洪水氾濫計算により効果の確認されている想定氾濫地点上流部に施設配置を検討。
- ・早月川支川の小早月川に砂防堰堤1基を整備し、上流からの土砂流出を抑止する。
- ・早月川本川に床固工3基を整備し、河床侵食による土砂生産を防ぎ河床上昇の低減を図る。

4 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1.1 ※一般資産被害、農作物被害、公共土木施設被害、営業停止被害等の軽減効果による便益

〈その他の効果〉

- ・人命等の人的被害の軽減、下流への流木流出による被害の低減 等

5 推進体制

- ・滑川市・魚津市から要望あり。



① 上流支川荒廃状況

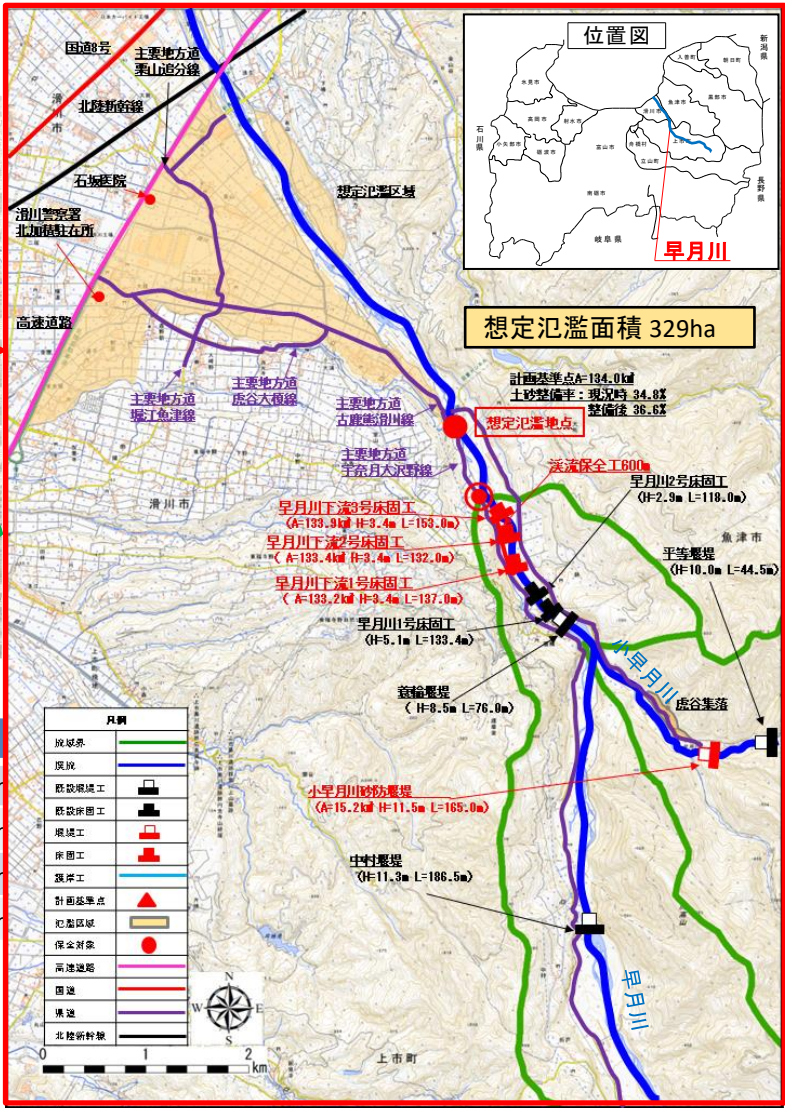


② 上流域不安定土砂の堆積状況

〈位置図〉



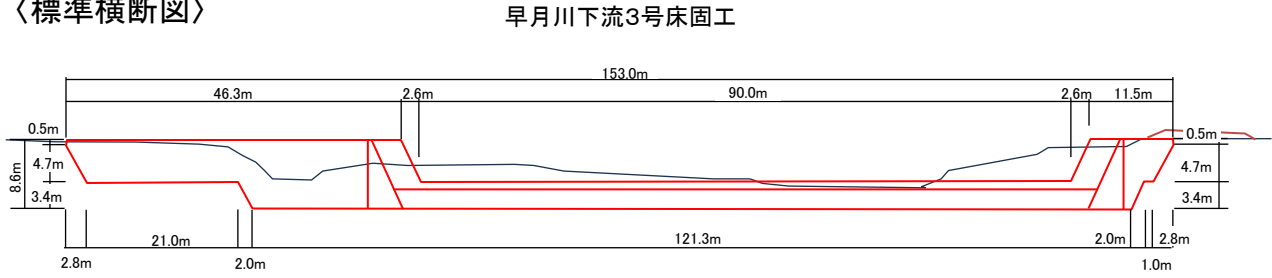
施設名	堤高	堤長
早月川下流1号床固工	3.4m	137m
早月川下流2号床固工	3.4m	132m
早月川下流3号床固工	3.4m	153m
小早月川砂防堰堤工	11.5m	165m



〈施工位置写真〉



〈標準横断面図〉



今後の検討により構造が変更となる場合があります

次年度新規要望箇所 説明資料

令和7年2月20日
富山県 土木部

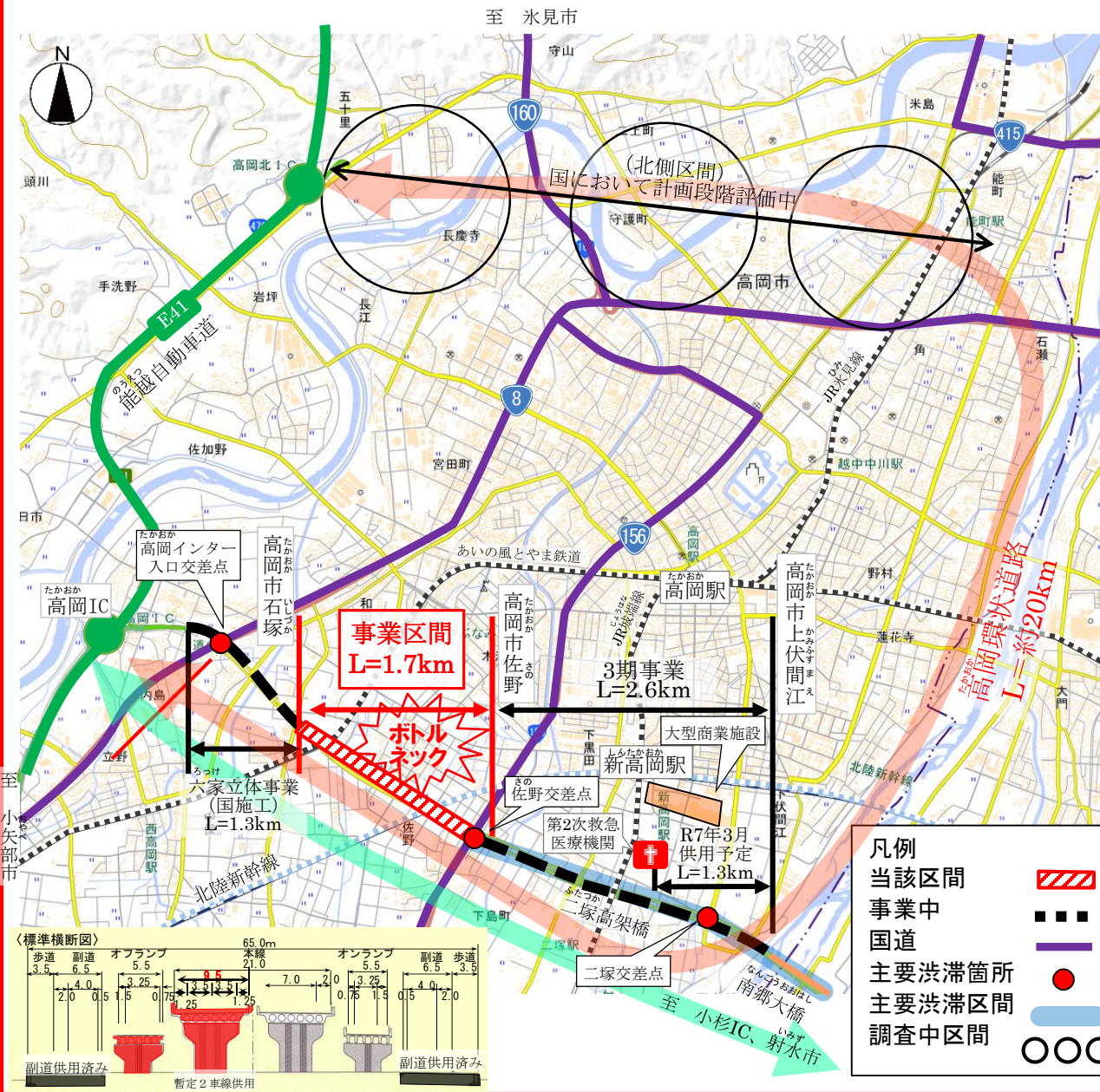
県道高岡環状線

さの いしづか

(高岡市佐野～石塚地内)

事業名	道路橋りょう改築事業
事業延長	延長1.7km(幅員9.5m)
事業内容	道路改良工(高架 暫定2車線)
総事業費	約210億円
予定工期	令和7年度～令和21年度

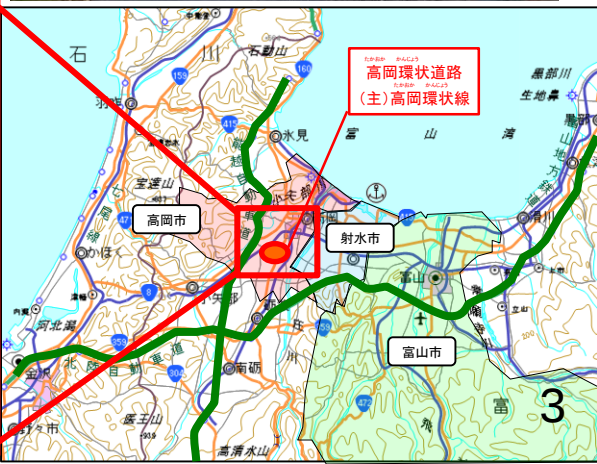
位置図、事業の必要性①



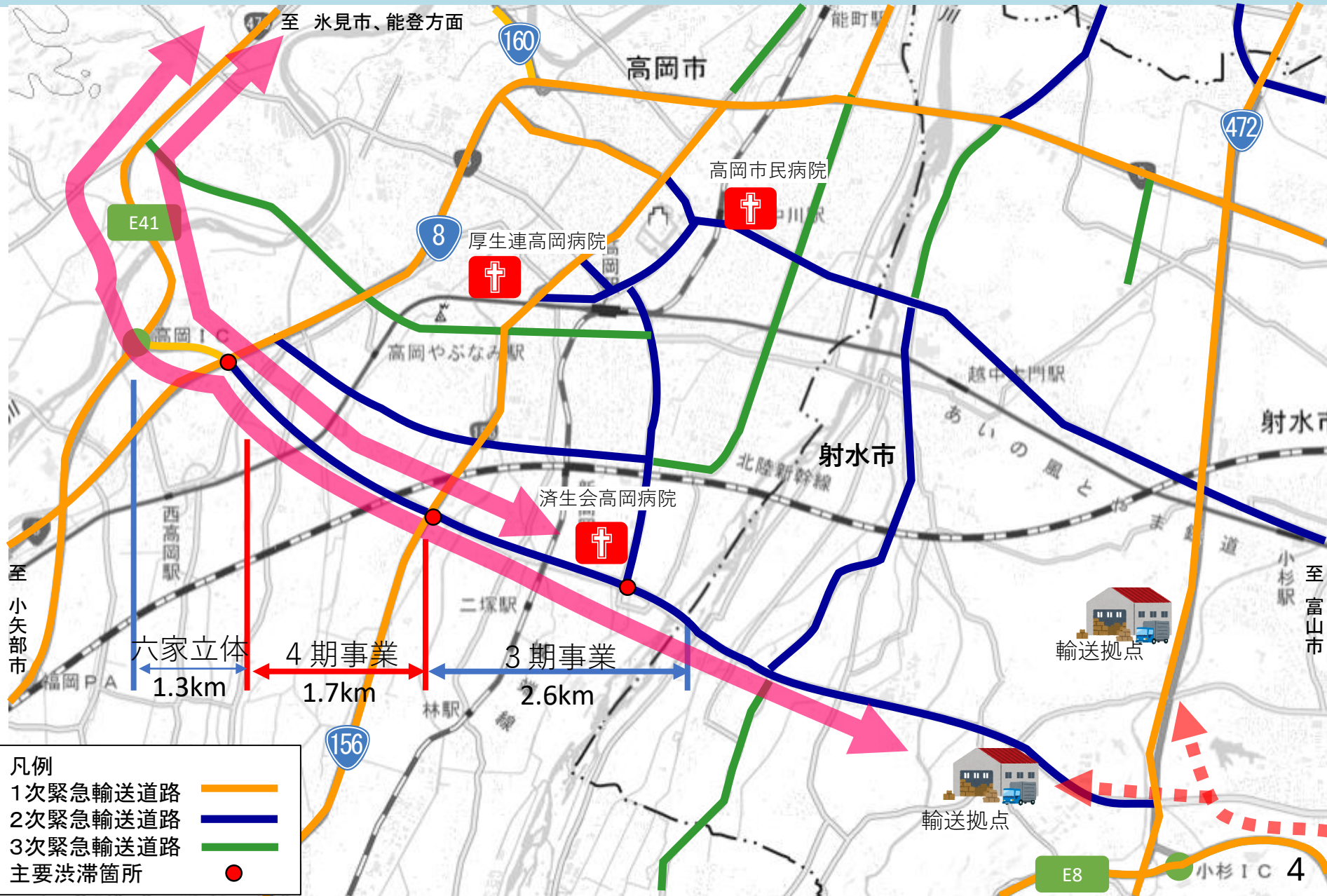
3期事業（南郷大橋西詰から西を望む）



(佐野交差点) 高岡ICを望む



事業の必要性②



事業の適切性、投資効果、推進体制など

○事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・主要渋滞箇所の佐野交差点を含む本事業区間の整備により、高岡市街地へのアクセス性及び東西方向の道路ネットワークが強化される。

○事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 2.1

〈その他 費用便益として表せない効果〉

- ・緊急輸送道路(第二次)としての機能強化
- ・氷見・能登方面との救急搬送路・避難路の強化
- ・交通の円滑化による産業、経済活動の促進

○推進体制

- ・高岡環状線建設促進期成同盟会、高岡市から要望あり

はじめに(土砂・洪水氾濫対策の推進)

・近年、気候変動に伴う降雨強度の増大により、全国で大雨や洪水が発生し、市街地等で甚大な被害が発生しており、砂防においては、土砂・洪水氾濫による被害が頻発化の傾向にある。

・河川管理者が主体となって関係者が協働して水害を防ぐ「流域治水」の取り組みが進められており、砂防事業では、これまで土石流対策を重点的に進めてきたが、下流域の被害を防ぐため「土砂・洪水氾濫対策」も進めていく必要がある。

土石流



土砂・洪水氾濫

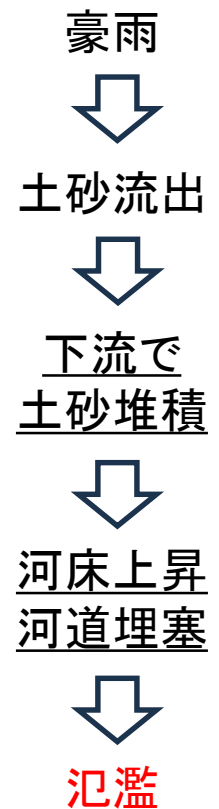
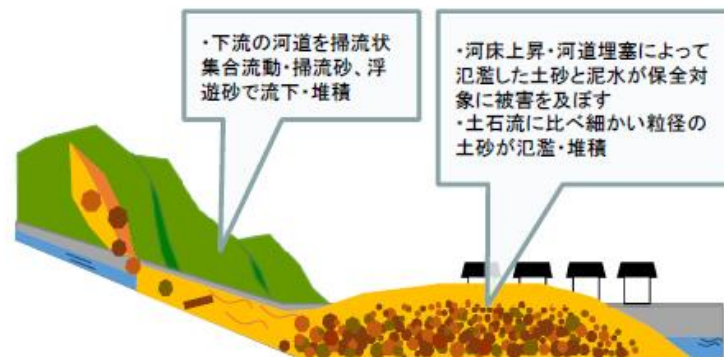
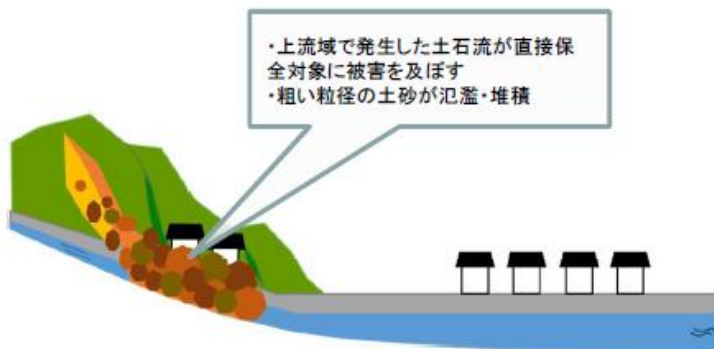


図1 土石流と土砂・洪水氾濫のイメージ比較図(国土交通省HPより引用)

1. 土砂・洪水氾濫の発生状況

近年頻発化する土砂・洪水氾濫における課題

- 土砂・洪水氾濫は、山地で多量に発生した土砂により扇状地や谷底平野等の緩やかな勾配の開けた市街地で土砂と泥水が氾濫する現象で、その被害は土石流等と比較し広範囲におよぶ。
- 土砂・洪水氾濫は、これまで度々大きな被害をもたらしてきたが、近年頻発化の傾向にある。

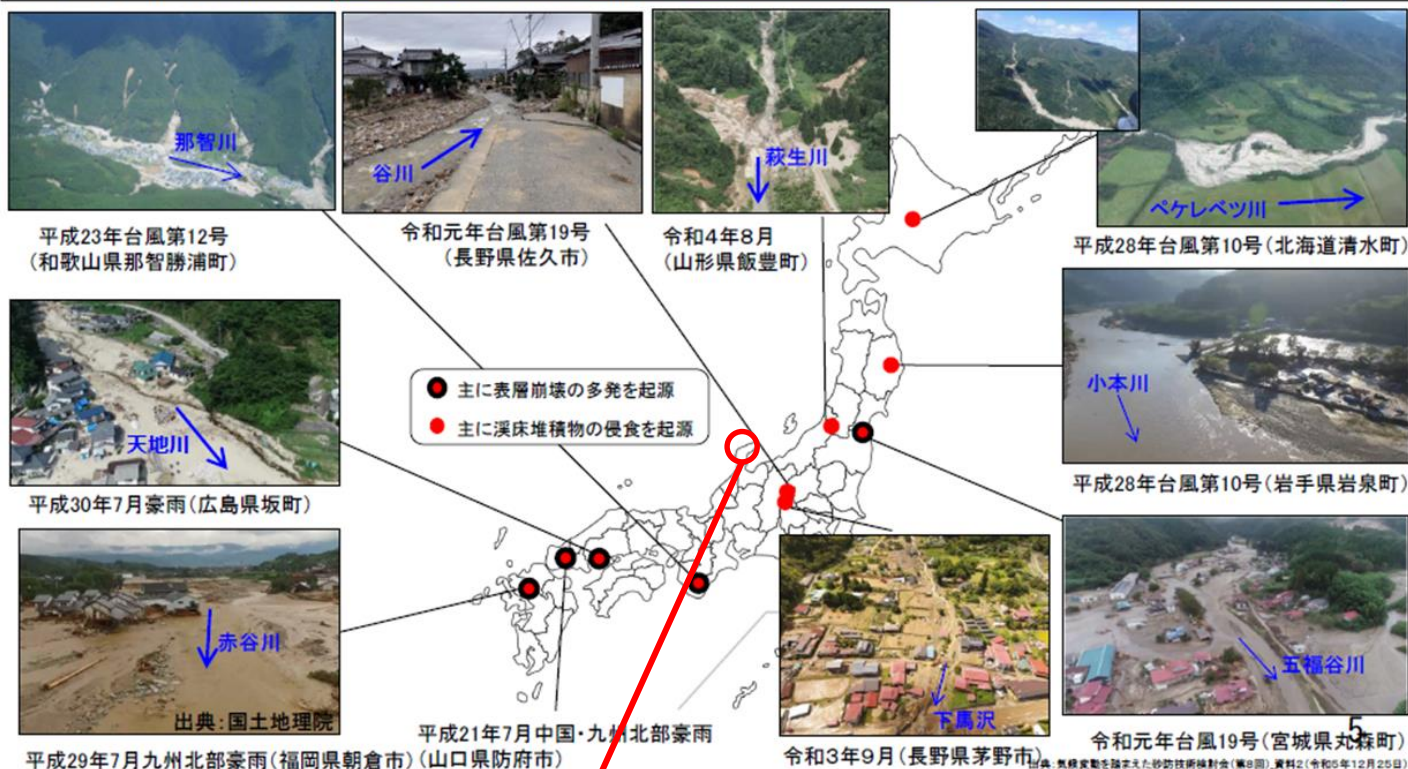


図2 近年における土砂・洪水氾濫における課題
(「第2回土砂災害防止対策推進検討会」資料抜粋)



塚田川(石川県輪島市久手川町)

図3 令和6年9月20日から大雨による石川県の土砂災害発生状況(北陸地方整備局HPより引用)

2. 土砂・洪水氾濫対策の推進

(1) 土砂・洪水氾濫対策手法の確立

このような土砂移動による災害を防止するには

- ①土砂移動現象を予測
- ②対策施設の配置検討
- ③対策の効果評価

が重要であり、その数値解析の手法や仕組みが整備され、平成31年3月に「国土交通省河川砂防技術基準 計画編」が改訂された。

(2) 対策施設の例

○上流の土砂流出を抑止する施設
【堰堤工】



常願寺川水系
雑穀谷10号堰堤

【遊砂地工】



祓川水系
祓川遊砂地
九州地方整備局
宮崎河川国道
事務所HPから流用

○河床侵食による土砂生産を防止する施設
【床固工】



早月川水系
蓬沢1号
床固工

【溪流保全工
(護岸工)】

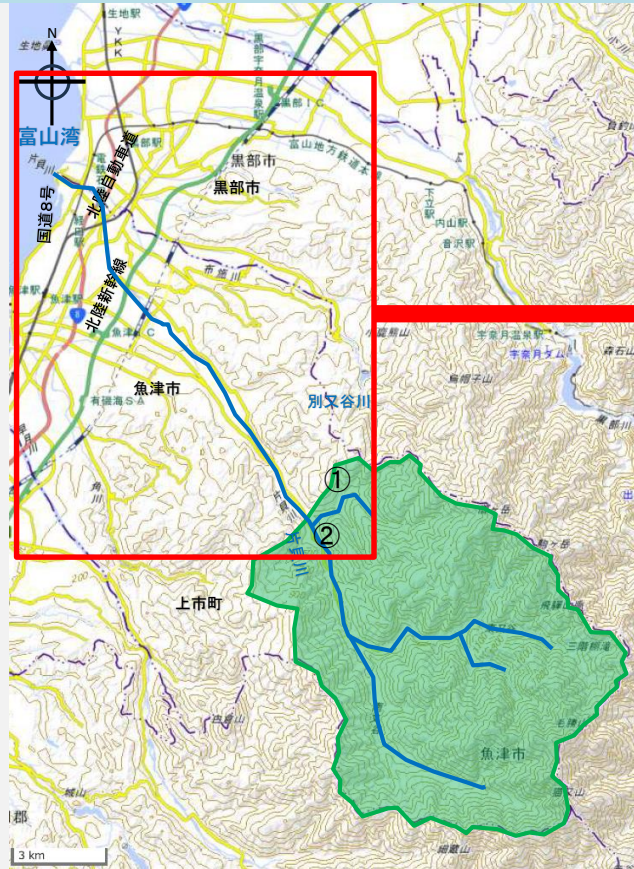


小矢部川水系
池川護岸工

かたかいがわ かたかいがわ
片貝川水系片貝川
さんが
(魚津市三ヶ外地内)

事業名	砂防関係施設整備
事業内容	溪流保全工2,380m（床固工2基）、遊砂地工1基、 堰堤工1基、堰堤改良1基
総事業費	42.5億円
予定工期	令和7年度～令和17年度

片貝川水系片貝川 事業概要①



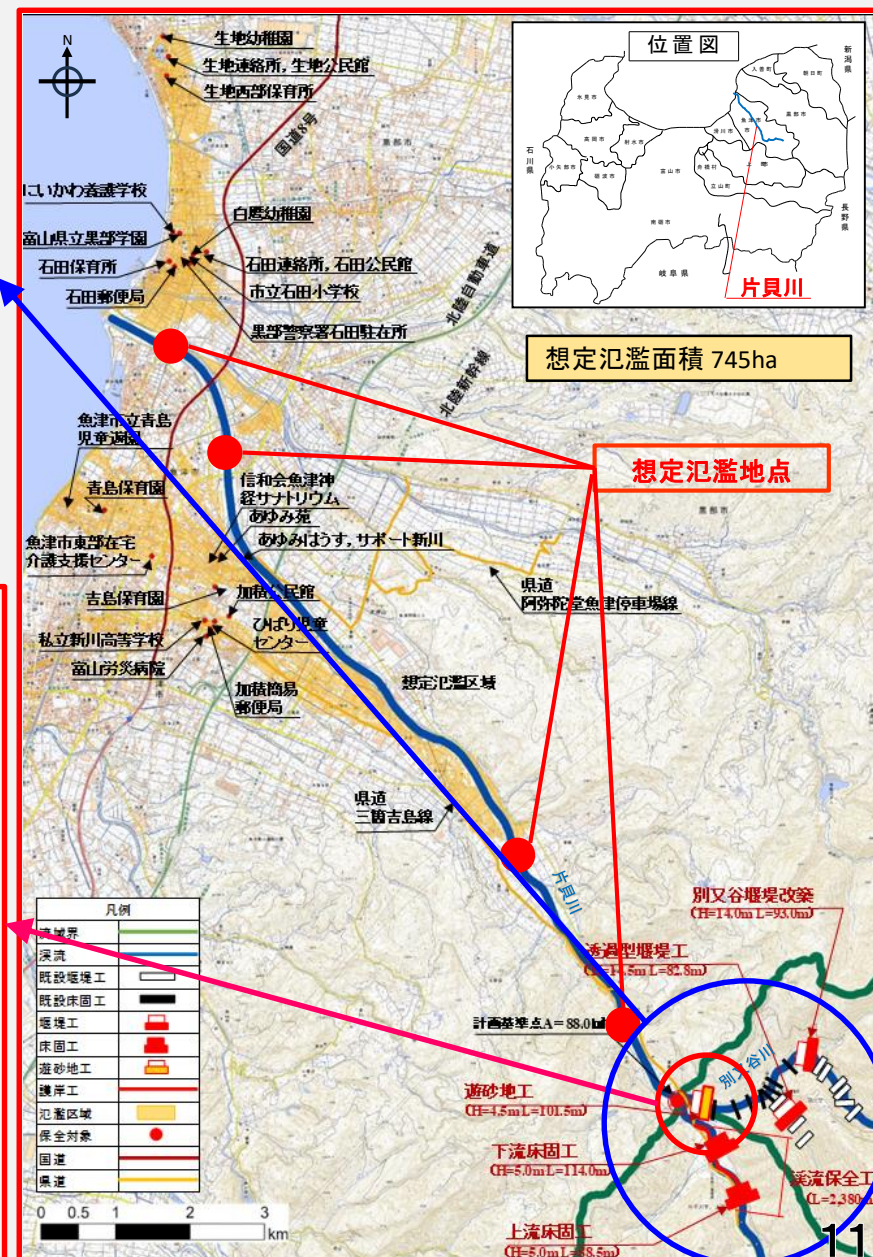
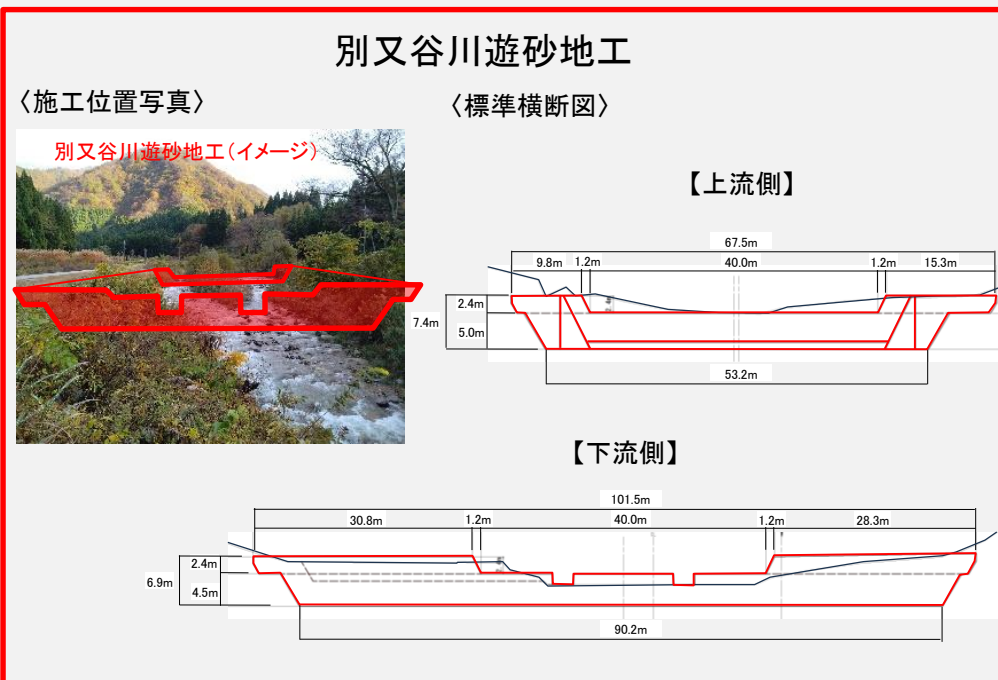
①上流支川荒廃状況



②上流域不安定土砂の堆積状況

片貝川水系片貝川 事業概要②

施設名	堤高	堤長
片貝川下流床固工	5.0m	114.0m
片貝川上流床固工	5.0m	88.5m
別又谷川遊砂地工	4.5m	101.5m
別又谷川堰堤改良工	14.0m	93.0m
一ノ又谷堰堤工	14.5m	82.8m



片貝川水系片貝川 事業概要③

○事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・土砂・洪水氾濫計算により効果の確認されている想定氾濫地点上流部に施設配置を検討。
- ・片貝川支川の別又谷川上流域に遊砂地工1基、堰堤工1基、既設砂防堰堤改良1基を整備し、上流からの土砂流出を抑止する。
- ・片貝川本川に床固工2基を整備し、河床侵食による土砂生産を防ぎ河床上昇の低減を図る。

○事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 2.2

※一般資産被害、農作物被害、公共土木施設被害、営業停止被害等の軽減効果による便益

〈その他の効果〉

- ・人命等の人的被害の軽減、下流への流木流出による被害の低減等

○推進体制

- ・魚津市・黒部市からの要望あり。

はやつきがわ はやつきがわ
早月川水系早月川
みのわ
(滑川市蓑輪外地内)

事業名	砂防関係施設整備
事業内容	堰堤工 1 基、溪流保全工600m（床固工 3 基）
総事業費	2 4 . 2 億円
予定工期	令和 7 年度～令和17年度

早月川水系早月川 事業概要③

○事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・土砂洪水氾濫計算により効果の確認されている想定氾濫地点上流部に施設配置を検討。
- ・早月川支川の小早月川に砂防堰堤1基を整備し、上流からの土砂流出を抑止する。
- ・早月川本川に床固工3基を整備し、河床侵食による土砂生産を防ぎ河床上昇の低減を図る。

○事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1. 1

※一般資産被害、農作物被害、公共土木施設被害、営業停止被害等の軽減効果による便益

〈その他の効果〉

- ・人命等の人的被害の軽減、下流への流木流出による被害の低減 等

○推進体制

- ・滑川市・魚津市から要望あり。